

No.	006	—	4002	事務事業名	はり、きゅう及びマッサージ施術費助成事業	細事務事業名		公的関与	5				
PLAN	課名	社会福祉課		係名	高齢者福祉係		電話番号	089-964-4406		メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	16年度～年度		期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(3) 高齢者の社会参加や自立・健康増進等の支援				
	事業の対象	東温市在住の65歳以上の高齢者です。					根拠法令	東温市はり、きゅう及びマッサージ施術費助成条例					
	事業の目的	最終的	介護予防の観点から、健康年齢域の伸長を目的として、はり、きゅう、マッサージ施術費を助成します。				今年度	介護予防の観点から、健康年齢域の伸長を目的として、はり、きゅう、マッサージ施術費を助成します。					
	活動内容	①	受給資格者から、施術機関において施術を受けた書類の申請を受け付けます。				④						
		②	内容を審査し確認した上で、助成金を支給します。				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標		
		事業の性質上、指標設定になじまない。		年間延べ数 (参考として申請件数を記載しています。)			件	目標	—	—	—	—	
						実績	1,244	1,453					
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	民生			費			
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	188千円	325千円	0千円								
		一般財源	1,056千円	1,128千円	1,440千円								
	計(A)	1,244千円	1,453千円	1,440千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.256人	1,546千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
		臨時職員工数・経費	0.145人	264千円	0.145人	272千円	0.145人	273千円					
	全体事業費(A+B)		3,054千円	1,725千円	1,713千円								
一次評価者	高齢者福祉係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市内65歳以上の全ての高齢者が対象のため、介護予防の観点からも、高齢者福祉の推進に必要です。												
有効性	市において、類似・重複した事務事業はなく、本事業を継続して利用されている方も多いため、市内の高齢者福祉の推進に対して有効です。												
達成度	目標値の設定は困難ですが、市民の継続したサービス利用が行われており、事業目標は達成できているといえます。												
効率性	平成24年度も引き続き後期高齢者広域連合会からの補助金を受け、効率的な事務運営を執行できました。												
当面の課題	昨年と比較し申請数は増加したが依然利用率は低いため、周知徹底を図る必要があります。												
改計画	定期的に応報に掲載し、民生委員会等で呼びかけを行い、市民へのサービスの周知徹底を図ります。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	本事業は、65歳以上を対象とし、介護予防の観点からも、高齢者福祉の推進に有効です。												

No.	006	—	4002	事務事業名	長寿祝金事業	細事務事業名		公的関与	5				
PLAN	課名	社会福祉課	係名	高齢者福祉係	電話番号	089-964-4406	メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	17年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(3) 高齢者の社会参加や自立・健康増進等の支援				
	事業の対象	毎年4月1日現在において、市内に一年以上在住の77歳、88歳、99歳の誕生日を迎える方です。				根拠法令							
	事業の目的	最終的	喜寿77歳、米寿88歳、白寿99歳の節目に、各1万円、3万円、5万円を支給します。			今年度	喜寿77歳、米寿88歳、白寿99歳の節目に、各1万円、3万円、6万円を支給します。						
	活動内容	①	対象者に支給申請書を送付します。			④							
		②	申請書提出後、祝金を指定口座に振り込みます。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		事業の性質上、指標設定になじまない。		該当者数 (参考として対象者数を記載しています。)		人	目標	—	—	—			
					実績	540	551						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	10,163千円	9,950千円	6,330千円								
		計(A)	10,163千円	9,950千円	6,330千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.104人 628千円	0.104人 629千円	0.104人 634千円								
		臨時職員工数・経費	0.000人 0千円	0.000人 0千円	0.000人 0千円								
	全体事業費(A+B)		10,791千円	10,579千円	6,964千円								
一次評価者	高齢者福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	老人福祉の推進を図り、高齢者の生きがい・健康づくりを促進していくために必要です。また、市全体として敬老の意識を継続していくために必要です。												
有効性	高齢者の長寿を祝い、多年の社会貢献に敬意を表するために有効です。また、該当者に対して類似する事業がなく、有効です。												
達成度	目標値の設定は困難ですが、該当者には全員支給できており、事業目標は達成しています。												
効率性	市の単独事業であり、年々コストが増加しています。平成25年度より対象者の見直しを図ります。												
当面の課題	平成25年度より対象者の見直しを図りますが、今後も対象者が増加する可能性が高く、支給額や対象者を減らすことを検討していく必要があります。												
改計画	本事業の支給対象者及び金額を引き続き、検討を行います。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	高齢者の長寿を祝い、多年の社会貢献に敬意を表するために有効な事業です。												

No.	006	—	4003	事務事業名	緊急通報体制整備事業	細事務事業名		公的関与	5				
PLAN	課名	社会福祉課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4406	メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	16年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(3) 高齢者の社会参加や自立・健康増進等の支援				
	事業の対象	75歳以上の独居高齢者または高齢者のみの世帯です。				根拠法令	東温市緊急通報装置設置要綱						
	事業の目的	最終的	緊急時の連絡体制を確保することで、高齢者福祉の推進を図ります。			今年度	緊急時の連絡体制を確保することで、高齢者福祉の推進を図ります。						
	活動内容	①	サービス利用の申請書を受け付けます。			④	課税状況に応じて、個人負担金を徴収します。						
		②	必要な事項を調査し、利用の可否を決定します。			⑤	委託業者から毎月委託料の請求があり支払いの手続きをします。						
		③	決定後、委託業者が機器の設置を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		事業の性質上、指標設定になじまない。		設置台数 (参考として利用者数を記載しています。)		台	目標	—	—	—			
					実績	140	145						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	1,118千円	1,060千円	0千円								
		一般財源	2,617千円	3,190千円	0千円								
		計(A)	3,735千円	4,250千円	0千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.105人	634千円	0.105人	635千円	0.105人	640千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		4,369千円		4,885千円		640千円						
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市内高齢者の見守りが綿密に行われています。独居高齢者の申請が増えており、引き続き事業の必要性を多分に実感しています。												
有効性	高齢者の緊急時の連絡や迅速な対応、安否確認を進めていくため有効な事業です。年数回の緊急連絡があり、協力員等を通じ、迅速に対応しています。平成23年度からの、警備員による駆けつけサービスにより協力員の負担が軽減されました。												
達成度	目標値の設定は困難ですが、高齢者の夜間等の不安感や、独居老人の安否確認等を実施可能であり、事業目標は達成できているといえます。												
効率性	平成23年度委託業者を変更したことにより、設置から対応、撤去まで効率的に行われています。												
当面の課題	委託料に対し利用者負担金の占める割合が低く財政の圧迫につながっています。また、利用者に対し定期的に現状確認を行い事業内容・方法の見直しを検討する必要があります。												
改計画	負担金の見直し、現況調査の実施等サービス全体の修正が必要です。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	独居高齢者等の緊急時の連絡、安否確認を行うことにより、安心安全な暮らしを確保するために必要な事業です。												

No.	006	—	4004	事務事業名	地域包括支援センター活動支援事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	社会福祉課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4406	メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	該当	事業期間	19年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(3) 高齢者の社会参加や自立・健康増進等の支援				
	事業の対象	市内の在宅介護支援センターである、ウェルケア重信及びガリラヤ荘です。				根拠法令	東温市地域包括支援センター活動支援事業要綱						
	事業の目的	最終的	市内の高齢者福祉の増進を図ります。			今年度	市内の高齢者福祉の増進を図ります。						
	活動内容	①	委託契約を締結します。			④	毎月委託事業所から実績報告を受け付けます。						
		②	市民からの在宅介護等に関して各種相談支援に総合的に応じます。			⑤							
		③	委託料を年2回に分けて支払います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		事業の性質上、指標設定になじまない。				目標	—	—	—	—			
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	5,376千円	5,376千円	5,376千円								
	計(A)	5,376千円	5,376千円	5,376千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.097人	586千円	0.097人	587千円	0.097人	591千円					
臨時職員工数・経費		0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		5,962千円	5,963千円	5,967千円									
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市内高齢者の相談窓口、高齢者実態把握調査等を委託しています。また高齢者に対してサービスの周知、申請書提出代行を行い、福祉サービスの推進のために必要です。												
有効性	情報の収集が困難な高齢者に対し、ブランチは有効です。高齢者福祉の充実を促進していくために、活動内容は適切です。												
達成度	目標値の設定は困難ですが、サービスの周知徹底を行い、市内高齢者福祉の推進を図ります。												
効率性	サービスの申請時には利用者の基本情報の提供を委託しており、円滑な事業運営が進められています。また、専門のノウハウを所有しているため、効率的な事業運営を進めることができます。												
当面の課題	市民に対する福祉サービスの周知徹底及び充実が求められます。また、事業所ごとに内容の理解に差があるため、委託事業所に対してサービス内容の周知徹底が求められます。												
改 革 画	月1回の連絡会の場をもち、包括支援センター、ブランチとの連携強化を図っていきます。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	市内高齢者の実態把握業務を委託し、高齢者施策の充実を図るため必要な事業です。												